

平成28年度 感染症危機管理研修会実施要領

主 催 : 国立感染症研究所
協 力 : 厚生労働省大臣官房厚生科学課
厚生労働省健康局結核感染症課

1 目 的

各地区の感染症担当者に対し、地域での感染症の予防制圧対策の推進、新興・再興感染症発生時において適切に対処するための知識の普及を図るとともに、感染症の動向に関する最新情報の提供及び各地区における感染症にかかる情報の交換を行うことを目的とする。

2 受講対象者

本研修は以下のとおり受講対象者が限定されております。申し込みの際は必ず自治体の衛生主管部局へお問い合わせの上、当該部署を経由して申請されるようお願いいたします。

上記目的を達成するため、現在、各機関において感染症対策の中心的役割を担い、本研修の内容を理解できる程度の医学的知識を有する、次のいずれかに該当する者

- (1) 都道府県・政令市・特別区の衛生主管部局、管内保健所又は地方感染症情報センターの医師及び獣医師等であって、衛生主管部局の長が推薦した者 **各自治体から1名**
- (2) 検疫所の医師及び獣医師等であって、検疫所の長が推薦した者 **各検疫所から1名**
- (3) 上記以外の所属で、国立感染症研究所感染症疫学センター長が受講を認めた者

3 実 施 日 : 平成28年10月12日(水)、13日(木)

4 研修内容及び講師 : 日程表のとおり

5 研 修 場 所 : 国立感染症研究所 戸山研究庁舎 共用第一会議室(2階)

6 参 加 費

研修参加費は無料です。ただし、交通費や宿泊費など研修受講の際発生する諸経費については、各受講者負担となります。

7 受講者の推薦方法について

受講者の推薦は、**平成28年9月2日(金)までに(必着のこと)**、別紙様式(※様式は各衛生主管部局へご確認下さい)により下記研修会事務局宛、郵送、またはFAXにて送付のこと。なお、**推薦なしでの受講は固くお断りいたします。**受講確定については後日担当部署あて文書により通知いたします。

8 研修会事務局 : 国立感染症研究所感染症疫学センター

〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1

TEL 03-5285-1111 (内線) 2543 FAX 03-5285-1129
 担当 感染症疫学センター情報管理専門官 宮間浩史 (事務担当)

日程表 (敬称略) 平成 28 年 8 月 9 日現在

平成 28 年度 感染症危機管理研修会 日程表		
日 時	内容 (演題等)	講 師 等
28 年 10 月 12 日 (水)		
09 : 30-10 : 00	受付	
10 : 00-10 : 05	オリエンテーション	国立感染症研究所感染症疫学センター長 大石和徳
10 : 05-10 : 10	開会挨拶	国立感染症研究所長 倉根一郎
厚生労働省の対応		
10 : 10-10 : 30	厚生労働省の健康危機管理対策	厚生労働省大臣官房厚生科学課長 佐原康之
10 : 30-10 : 35	質疑応答	
10 : 35-10 : 55	AMR アクションプラン	厚生労働省健康局結核感染症課長 浅沼一成
10 : 55-11 : 00	質疑応答	
11 : 00-11 : 20	感染症法改正について	厚生労働省健康局結核感染症課感染症情報管理室長 宮川昭二
11 : 20-11 : 25	質疑応答	
11 : 25-12 : 40	昼食	
最近の話題		
12 : 40-13 : 05	ジカウイルス感染症の疫学と知見のアップデート	国立感染症研究所感染症疫学センター長 大石和徳
13 : 05-13 : 10	質疑応答	
13 : 10-13 : 35	E 型肝炎の最近の話題	国立感染症研究所ウイルス第二部第五室長 石井孝司
13 : 35-13 : 40	質疑応答	
13 : 40-14 : 05	千葉県で発生した日本脳炎乳児例からみた日本脳炎ワクチン制度の課題	国保旭中央病院小児科 小児総合診療部長 北澤克彦
14 : 05-14 : 10	質疑応答	
14 : 10-14 : 35	国内における梅毒の動向と課題	国立感染症研究所感染症疫学センター第二室長 砂川富正
14 : 35-14 : 40	質疑応答	
14 : 40-14 : 50	休憩	
事例対応①		
14 : 50-15 : 15	熊本地震における感染症コントロールに向けた当課の経験	熊本県健康福祉部健康危機管理課課長補佐 小山宏美
15 : 15-15 : 20	質疑応答	
15 : 20-15 : 45	唐津 CRE 事例	佐賀県唐津保健所長 中里栄介

15 : 45-15 : 50	質疑応答	
15 : 50-16 : 15	CRE と JANIS 検査部門について	国立感染症研究所細菌第二部第一室研究員 筒井敦子
16 : 15-16 : 20	質疑応答	
16 : 20-16 : 45	島根県内の高校寮における腸管出血性大腸菌感染症アウトブレイク	島根県出雲保健所医療専門幹 柳樂真佐実
16 : 45-16 : 50	質疑応答	
16 : 50-17 : 15	伊勢志摩サミットにおける感染症サーベイランスについて	国立感染症研究所感染症疫学センター 第 17 期 FETP 蜂巢友嗣
17 : 15-17 : 20	質疑応答	
17 : 30-18 : 30	ポスターセッション	FETP
28 年 10 月 13 日 (木)		
予防接種で予防可能な疾患に関する最近の話題		
09 : 10-09 : 35	風しん排除に向けた東京都の取り組み	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長 杉下由行
09 : 35-09 : 40	質疑応答	
09 : 40-10 : 05	沖縄県内における流行性耳下腺炎の流行と重症例に関する積極的疫学調査	国立感染症研究所感染症疫学センター第 17 期 FETP / 那覇市保健所保健総務課 医師 安藤美恵
10 : 05-10 : 10	質疑応答	
10 : 10-10 : 35	水痘ワクチンの定期接種化と導入前後の水痘発生動向	国立感染症研究所感染症疫学センター第三室研究員 森野紗衣子
10 : 35-10 : 40	質疑応答	
10 : 40-10 : 50	休憩	
事例対応②		
10 : 50-11 : 15	麻しん広域連携 (調整中)	担当講師調整中
11 : 15-11 : 20	質疑応答	
11 : 20-11 : 45	エンテロウイルス D68 感染症 ポリオウイルスのバイオリスク管理	国立感染症研究所ウイルス第二部第二室長 清水博之
11 : 45-11 : 50	質疑応答	
11 : 50-12 : 15	地域における百日咳の流行への対応について	長野県木曾保健所長 西垣明子
12 : 15-12 : 20	質疑応答	
12 : 20-13 : 30	昼食	
13 : 30-13 : 45	感染症アウトブレイク調査の基本ステップ	担当者
13 : 45-15 : 55	ケーススタディ演習	担当者
15 : 55-16 : 00	閉会挨拶	国立感染症研究所感染症疫学センター長 大石和徳

※演題・講師等は都合により変更となる場合があります。